

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・児童支援活動の推進	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	地区民児協同士の交流事業の実施			
1	下関市	東部			○			<p><東部地区民生児童委員と関係自治会長との懇談会> ○ねらい:地区の民生児童委員との関係の自治会長との懇談会を通して地域福祉の諸課題の解明を図り、今後の福祉活動の充実に資する。 ○日時:平成29年2月24日(金) 14:00~16:00 下関市社会福祉センター大ホール ○参加者:【民生児童委員・主任児童委員】23名 【関係自治会長】25名 ○内容:1 下関市社会福祉協議会からの指導講話(30分) 2 本庁東部包括支援センターからの指導講話(60分) 3 協議(民生児童委員と自治会長との懇談会)(60分) ・各自治連合会単位で3ブロックに分かれて地域での問題点などについて講義</p>	<p>【成果】 ・各自担当地域の自治会長との懇談を図ることで、地域全体のつながりや信頼関係を築くことができ、今後の地域福祉活動の基盤を作ることができた。 ・地域の問題点を出し合うことで地域の課題について確認し、解明の方策を協議するなかで民生児童委員としての活動の在り方を考えることができた。</p> <p>【課題】 ・高齢化率が高まっていく中で、民生児童委員や主任児童委員の単独の活動にならず、自治会長や地域の福祉委員との情報の共有や伝達・相談を行い、地域としての見守りや支援をどのように図っていくのか、各地域の特殊性を踏まえながら考えていく。</p>	
2	下関市	中部			○		<p>地区自治会と民生委員・児童委員による「住民座談会」 【実施日】平成28年12月15日(木) 12時10分~13時30分 【参加者数】53名(民生委員30名・自治会長23名) 【内容】11時30分~ ・食事をしながら座談 12時10分~ ・各自治会長と民生児童委員による「住民座談会」を開催 ・意見交換会の実施</p>	<p>【成果】 ・各自治体のニーズ(自治会活動や空き家問題、高齢化率など)を把握することができた。 ・自治会と民生児童委員の関わり(連携・協力)について確認することができた。</p> <p>【課題】 ・各自治会でボランティア活動(買い物の代行、ごみ出し、草取りなど)をする「お助け隊」を結成し、民生児童委員が協力していくためにどんなことをするのか、何ができるのか?</p>		
3	下関市	西部第1地区			○		<p>下関市介護予防ふれあい講座 【実施日】平成28年5月13日 【参加者】民生委員4名、地域住民19名 【実施内容】家庭でできる簡単な体操 実践を踏まえた体操</p> <p>特別養護老人ホーム 梨花の里 訪問研修 【実施日】平成29年1月24日 【参加者】民生委員17人、地域住民7人 計24名 【実施内容】午前:介護業務内容、認知症予防等についての講習 昼食・休憩 午後:老人ホーム1階~4階 見学、入所者との交流 質疑応答</p>	<p>下関介護予防ふれあい講座 【成果】 離島での講座は少ないので大変有意義でした。これを機に続けてほしい。</p> <p>特別養護老人ホーム 梨花の里 訪問研修 【成果】 1人暮らしの高齢者からのホーム入所に関する相談がよくあるので、本日の研修は大変有効でした。</p> <p>【課題】 要介護3以上の方が入所条件なので、入所希望者全員が入れないように思われます。</p>		

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資質向上に向けた研修 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動 の推進に関する調査	地区民児協同士の 交流事業の実施			
4	下関市	北部第2地区			○	○		<p>①出前講座 マイナンバー制度について ・平成28年7月29日(金) 13時～ 北部公民館 視聴覚室 ・参加者22名+(県より3名)</p> <p>②活動記録記入の仕方・防災図上訓練 ・平成29年3月5日(日) 10時～15時30分 ふくふく子ども館多目的ホール ・参加者24名 ・北部第2民生委員・児童委員担当地域全体のゼンリン地図を作成して、防災図上の訓練をする。(高潮・津波被害・がけ崩れ・避難所・AED・公衆電話・医院) ・委員個人の地図は、独居老人・75歳二人暮らしの高齢者・身障者等色分けして防災対策の資料に日々の活動の推進に活用する。</p>	<p>①出前講座 マイナンバー制度について ・高齢者にマイナンバーについて説明できるようにとの思いで講座開催しました。まだまだ委員個人もよく理解できませんでしたので、引き続き研鑽していきます。</p> <p>②活動記録記入の仕方・防災図上訓練 ・公衆電話が携帯電話に押されて少なくなっていることが判明しました。 ・身近に危険(高潮・崖崩れ)が多々あることが判明。これからも取り組みたいと思います。 ・AEDの設置個所も担当地域の中に多々あることも判明。身近で何かあったとき役立てていきたいと思います。</p>	
5	下関市	北部第4地区			○			<p>【成果】 社協・地区社協と単位民児協との関わり方が理解できた。</p> <p>【課題】 北部第4地区に当てはめるには大分形態を変えなければならないようである。</p>		
6	宇部市	東岐波		○	○			<p>1 母子推進協議会が乳幼児と母親を対象に推進する「ピコピコランド」の行事に年間5回、民生委員6～7名が参加し、民生委員の立場から事業に協働・支援すると共に参考意見を具申した。</p> <p>2 門前自治会が主催する地区高齢住民(他地区からの参加も歓迎)を対象とした「いきいきサロン学習会」に民生委員12名が参加し、行事運営の側面支援、協働に努めた。</p>	<p>【成果】 各事業とも民生委員の相当数の参加協力が得られ、事業主催団体との協働を通じて、相互の意思疎通、民生委員としての自覚の確立、資質の向上等にある程度、資することができたと思われる。</p> <p>【課題】 近年、民生委員自身にも有職者多く、多忙の中から民生委員活動のための時間割り振りに苦心している現状において、当支援事業等の新事業への効果的な対応策。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化				
					資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施		
7	宇部市	西岐波	○	○				<p>未就学園幼児・乳幼児と保護者・妊娠中の女性が気軽に立ち寄れて、①子育て相談、②子育てに関する情報提供及び③友達づくりの場として、「ひなたぼっこ」を開設し実施した。</p> <p>・開催日 毎月第2火曜日 午前10時～12時まで ・参加者 年間で延べ540人 月によって参加者数は異なるが、毎月、40人強の親子が参加</p> <p>・実施内容 広報 自治会の回覧広報を活用して広く周知 内容 月ごとの行事に併せて(例えば、7月は七夕飾り作り)の簡単な工作、絵本の読み聞かせゲーム、おしゃべりなど運営用スタッフのアイデアを活かした内容 運営 民生委員(助成主体)7～8名に母親クラブ、地域ボランティアの11名～12名で打ち合わせをしながら運営</p>	<p>・地域における子育て支援活動の場として「ひなたぼっこ」は定着しつつあり、親子で気軽に参加し、スタッフへの相談もさることながら、同世代の子どもを抱える参加者同士の交流の場としての役割も果たしている。このことは、地域から孤立した子育てや、孤独な子育て解消に貢献しているものと自負しており、地域福祉活動の推進にも寄与していると考え。</p> <p>・課題は、内容がマンネリ化しないようにと自覚しているところ。</p>
8	宇部市	常盤		○	○			<p>民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施 <内容> 多機能ホーム施設見学 ・夢のみずうみ村デイサービスセンター施設見学 ・リハビリテーション病院デイサービス夏祭り参加(体験学習)</p> <p>児童育成・子育て支援活動の推進 <内容> 校区事業に参加し、地域住民と交流及び母子保健推進委員と連携 ・あるウオーク大会を開催 ・育児サークルカッターランドを開催 ・新生児の訪問活動</p>	<p>【成果】 地区民生児童委員の資質向上が図れた。施設の訪問や交流会を通じて高齢者や学童・児童とのふれあい方が理解できた。</p> <p>【課題】 少子高齢化が進む中、地区民児協の組織体制の充実を図るため、研修会、地域住民との交流会等を実施しているが、交流会へ参加しない人及び参加できない人への対応</p>
9	宇部市	恩田	○		○			<p>地域福祉活動の推進 ・独居世帯に「ひとりで悩まないで」パンフレット印刷 市配布の救急キットには民生委員の表示がないため</p> <p>民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施 ・福祉委員との合同研修会の実施 自治会長(福祉委員との連絡・協働)との情報共有・相互理解</p> <p>・「生活福祉資金制度」について 研修会実施 制度についての説明、実績、遅延者への対応・質疑応答 講師:社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 貸付担当</p>	<p>【成果】 ・改選委員訪問時にPR(福祉委員との研修会を踏まえ欄新設 ・福祉委員との連携・協働の重要性及び民生委員の守秘義務への理解 ・「生活福祉資金制度」について、県社協より役割やかかわり方を学んだ</p> <p>【課題】 ・生活福祉資金制度利用する返済遅延者に対する民生委員のかかわり方 督促状を民生委員が持参するのは疑問が残る。内容証明未実施であり、請求事務は社協の役割だと思います。</p>

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資民生質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施			
10	山口市	白石		○				<p>第1回 平成28年7月15日(金) 場所 社会福祉法人 同朋福祉会 障害児通所支援事業 “ステップあそかの園” 参加者 20名 実施内容 施設を訪問して、責任者西村善緒さんからお話を聞く</p> <p>第2回 平成28年10月11日 場所 山口市白石地域交流センター 参加者 48名 実施内容 テーマ「発達障がい児の理解について」 講師 県発達障害者支援センターまっぶセンター長 岡村 隆弘(臨床発達心理士) 内容 白石地区住民、白石地区民生・児童委員、福祉員、児童クラブ支援員等を対象に発達障がい児(者)に対する理解を深めるため、講話を聞いた。</p> <p>その他 白石地区子育てサロン(月1回)へ支援をした。参加者平均14名。</p>	<p>【成果】 地域を巻き込んだ研修会ができ、実際に障害児と向き合っている人達も多く参加していただけたので良かったと思う。</p> <p>【課題】 今回の事業は色々な意味でよききっかけづくりとなりました。お話を聞くだけではなかなか理解しづらい点もあり、今後はどのような取り組みをするのがよいのでしょうか……。</p>	
11	山口市	吉敷						<p>1 地域の絆づくり(平成26年度から推進中) ・回覧板手渡し、声掛け運動の推進 ・「いきいき百歳体操」の普及で絆づくり(平成28年度現在1町内)</p> <p>2 要援護者への救急セットの配布拡大</p> <p>3 機能する仕組みづくり ・避難経路、避難場所、支援者を各町内会のマップに表示し、吉敷防災会で活用</p>	<p>【成果】 万全ではないが、一人も見逃さない運動も具体的になってきている。</p> <p>【課題】 防災訓練などを実施し次なる課題を探る。</p>	
12	山口市	陶	○					<p>平成28年7月 「陶地区民児協」の名入りベストを8名+2で10着制作。 毎月の小学校玄関前あいさつ立哨 11月 陶ふれあい祭での民児協PRカード、薬物乱用防止リーフレットを配布。 その他、折々の行事に民児協として参加する時にベストを着用し、民生委員・児童委員として活動していることを地域の方にアピールした。</p>	<p>【成果】 ベストは赤色でサイズもXLで統一し、陶地区民児協の物品として委員には貸与という形をとり、できるだけ長く使用していく予定なので、地域住民に周知してもらおう手立てとなる。</p> <p>【課題】 赤いベストを着用すると何某か気が引き締まる。より良い活動をしていきたい。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・児童支援活動の推進	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資民生委員・児童委員の向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施			
13	山口市	徳地			○		○	<p>1) 県外研修(障害者福祉施設の視察) 日時:平成28年4月5日(水) 10時30分～11時30分 場所:「サスケ設計工房高松」(障がい者就労継続支援事業所) 香川県高松市本木町 参加者:27名 内容:障がいのある人が働ける場として設立されたサスケIT(株)経営の就労継続支援A型事業所を見学。</p> <p>2) 県内研修視察 日時:平成28年10月13日(木) 11時～14時30分 (台風のため、10月5日(水)から変更) 場所:①普賢寺(光市室積)見学 ②光市第4地区民生委員児童委員協議会との交流研修会(光市三島公民館) 参加者:8名 内容:①普賢寺……住職講話、施設見学 ②光市第4地区民生委員児童委員協議会との交流研修会……相互作成の交流会資料に基づき情報交換を行った。</p>	<p>【成果】 1) 県外研修 継続的な雇用契約により、障がいのある人がCAD製図やITを活用した業務に従事している施設で、詳細な運営説明を聞き、就業の様子が見学できた。 就業意欲のある障がい者が働ける場があり、業務を通じて知識の習得及び体調管理、能力向上に必要な訓練や支援を行う環境の重要性を強く感じた。</p> <p>2) 県内研修視察 予定変更に協力していただき、ボランティア活動されているハンドベル演奏の鑑賞など、大変有意義な交流研修となった。</p> <p>【課題】 今後も福祉施設にこだわらず、知識習得のため、多様な研修先を選定したい。 今後も他の民児協との交流を通して、より有意義な研修を実施し、委員の資質向上に努めたい。</p>	
14	山口市	阿東		○	○			<p>事業内容:子育て講演会開催 講師:幸重 忠孝 氏(幸重社会福祉士事務所代表) 日時:平成28年10月1日(土) 14:00～15:30 (活動回数3回 6/25 講師打ち合わせ 8/9 地区民児協役員協議 10/1 講演会) 会場:阿東老人福祉センター 大集会室 参加者:民生委員児童委員・子育て中の保護者・学校関係者・福祉員 地域青少年健全育成団体 参加人数:約70人</p>	<p>【成果】 講演会を通じ、全国的に課題となっている「相対的貧困」を作らないため、地域全体で子どもを育てていく見守り活動強化の大切さや、民生委員・児童委員として、児童の心情を理解し適切な対応をすることの重要性を学ぶことができた。 また「相対的貧困」の端緒となった背景等を的確に理解した上で地域において児童が相対的貧困にならないような取り組みを行うことを検討する一助となった。</p> <p>【課題】 ・地域全体で子どもやその子ども世帯全体を支えていくネットワークの構築 ・地区民児協として、民生委員以外を対象とした講演会開催が初めての試みであり、参加率をあげるため、チラシ、防災行政無線等を活用し住民に周知をしたが、民生委員・児童委員以外の参加が思ったより少なかった。今後、企画をする場合は、参加人数を増やすための広報の仕方、開催時期などを検討する必要がある。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・児童支援活動の推進	地区民協体制強化					
					資民生質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	民生委員・児童委員の活動	地区民児協同士の交流事業の実施		
15	萩市	椿東	○		○				<p>施設訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:平成28年6月26日 訪問先:「夢のみずうみ村」防府デイサービスセンター 目的:利用者(障がい者)主体運営の視察 内容:施設概要と業務内容の説明と施設内の見学、利用者との交流 <p>年賀状の作成と送付</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者:80歳以上の1人暮らし、2人暮らし高齢者 目的:対象の高齢者への新年の挨拶と地域でのイメージアップ及び活動の幅の拡大。 	<p>【成果】</p> <p>障がいを持っていても、そのニーズに合った役割と日課があり、「人生の現役養成道場」「生きがい養成所」「夢」を共有し合い、生き生きとした笑顔で過ごしている利用者に接し、施設のすばらしい主旨と目に見えない力を感じたこと。年賀状については、高齢者の方から返礼の言葉をいただき、それをきっかけに訪問活動に和みと幅が出来た。</p>
16	萩市	見島	○					<p>悪徳商法の被害防止(寸劇「オレオレ詐欺にご用心」)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:平成28年7月29日 午後3時～ 会場:見島ふれあい交流センター 講師:元見島駐在所長他2名 参加者数:32名 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> わかりやすい寸劇で参加者に好評だった。 思っていたより若い世代の観劇者が多かった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し高齢者の参加があればよかった。 	
17	萩市	福栄			○			<p>①日 時 平成28年10月7日(金) 10:00～12:00 参加者数 16名 実施内容 美祢社会復帰促進センター施設視察見学</p> <p>②日 時 平成29年1月17日(火) 10:20～11:30 参加者数 17名 実施内容 認知症講座開催 講師:社会福祉法人 萩市社会福祉事業団 萩市中津江認知症高齢者グループホームなごみ ユニット管理者 森田 磨砂 氏</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 刑事施設に入所してから出所するまでにどのような取組みが実施されているのか学習した。 認知症についての基礎知識及び対応の仕方について学習し、理解を深めた。 	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動に関する調査	地区民児協同士の 交流事業の実施			
18	防府市	松崎	○	○				<p>1. 夏休みに地区内の大人と子供の交流事業を行う 実施箇所 5か所</p> <p>【内容】 ①国衛:夏休み、毎週火曜日午前中に集まり、1時間程度宿題に取り組み上級生や大人が低学年の勉強を教えるを行いました。勉強後は毎回テーマを変えて学習内容を経験しました。 ②国分寺:そうめん流しをして楽しみにしました。 ③前小路:そば打ち体験をしました。 ④栄町:焼肉大会をしました。 ⑤緑町</p> <p>2. 夏休み期間中大人と子供のラジオ体操をしました。 実施箇所 4地区(国衛北、国衛南、前小路、栄町)</p>	<p>【成果】 子供と大人の交流により顔見知りとなり、地域の安心安全に貢献できた。また高齢者と子供の見守りがスムーズに行えた。</p> <p>【課題】 課題としては地域の参加者が少ないと活動がスムーズにいかない、いかに多くの人に参加できるようにする工夫ができるようにすること。</p>	
19	防府市	新田			○	○	○	<p>1. 萩市橋区 1. 日時 3月6日 1. 参加者 16名</p> <p>震災・防災、独居老人、児童育成・子育て支援の各部活動内を見聞</p>	<p>【成果】 各部総合の活動状況を見聞できたことは大変参考になりました。</p> <p>【課題】 総合でなく、各担当分野で活動していくことも、今後、考えていきたいと思う。</p>	
20	防府市	中関			○			<p>1 山口県華南園職員による講義・実演方式による講習受講 (5回、各回とも参加者22名、時間14時～15時) (1)車椅子の操作(4/14) (2)障害者差別解消法及び障害者との交流(7/14) (3)防災訓練、障害者の避難誘導訓練(9/8) (4)高次脳機能障害、障害者とのポッチャゲーム(12/8) (5)誤嚥性肺炎及び口腔ケア(講師:まりふ 歯科尾島先生、2/9)</p> <p>2 華南学園での奉仕活動(洗濯物の整理、障害者との交流)</p> <p>3 特別養護老人ホーム「オアシスはぎ園」視察研修 10/13 10時～12時</p>	<p>【成果】 障害者との交流を重ねるごとに障害者に対する理解・認識が深まり、障害者と真正面から向き合っのコミュニケーションが可能になったことが最大の成果。次に華南園での学習・実技演習により、障害者福祉の基本的な知識・技術を習得できた。また、オアシスはぎ園での研修では、例えば施設内移動ではエレベーターではなくスロープ利用等生活の中で歩行リハビリの実地訓練、霊安室の設置により最期まで見届ける体制の備え、音楽療法の視察を通じて見聞を広めることができた。両施設とも「その人らしさを大切に」のモットーの下、お互いの人間関係を重視して、「誰もが安心して明るく楽しい自立生活」が出来るように地域と一体となって社会福祉の向上を目指していることを肌で感じた。本事業を通じて改めて、民生委員活動の基本を学んだ。今後の活動に生かしていきたい。</p> <p>【課題】 当初企画の「近くのスーパーへの外出」を歩道の状態(段差等物理的理由、歩道への自転車放置、自転車の運転のマナーの問題等)のをより断念せざるを得なかったことが残念。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					
					資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動	地区民児協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
21	下松市	久保	○	○	○	○	○	○	<p>(1)地域福祉活動の推進 ・各地区福祉員との連携強化(年1回)福祉員との研修会実施及び地区サロンひろばへの支援活動 ・独居高齢者への配食・会食の推進(年/6~8) ・高齢者への誕生ハガキ送付(定例会時に毎月担当者ごとに誕生ハガキ送付)</p> <p>(2)児童育成・子育て支援活動の推進 ・児童の登下校の見守り活動の継続 ・地区子ども体験学習への応援と支援の継続 ・放課後子ども教室の応援体制の確立と中学生ボランティアの地域活動の支援体制の強化</p> <p>(3)地区民協体制強化 ア民生委員の資質向上に向けた研修 ・平成28年10月20日 実施参加者(17名) 児童養護施設「こぶしヶ丘学園」視察研修 イ民生委員・児童委員活動の推進にかかる調査活動 ・毎年5月~6月にかけて高齢者実態調査実施 ウ地区民児協同士の交流事業 ・平成28年8月9日 7地区合同研修の実施 エ新規事業実施の促進 ・民生委員制度創設100周年記念事業としてイベントブルゾン(20着) 購入し、行事や会合、研修時に着用。広報活動を推進する。</p>	<p>【成果】 当初の計画は概ね達成できたと思う。</p> <p>【課題】 民生委員同士の繋がり、定例会の在り方の工夫など、委員同士の資質向上を誇りたい。 組織の見直しに基づいて各部会設置。</p>
22	下松市	東豊井	○		○	○	○	<p>【目的】 1 民生児童委員としての資質向上 2 関係団体との連携 3 市内小学校との連携強化</p> <p>【事業内容】 1 各種研修会の実施と参加の促進 2 市社協、公民館行事の参加、協力(9月11日、10月15日・16日・22日・23日) 3 他地区との交流(周南市桜木地区・江の浦地区 11月14日) 4 小中学校の月例会議への出席依頼及び協議</p>	<p>【成果】 研修会を通じて委員同士のつながりが強くなり、関係団体との横のつながりもでき連携強化されたと思われる。 また、他地区との交流については各地区の実情がよくわかり、東豊井地区の足りない部分を理解できた。</p> <p>【課題】 施設訪問の機会を増やし、いろいろな方と意見交換し、実情把握に努めていきたいと思っている。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					
					資質向上に向けた研修	民生委員・児童委員の活動	民生委員・児童委員の活動	地区民児協同士の交流事業の実施		
23	光市	第6地区							<p>地区社協との協働により急速に変化する社会に対応できるような委員個々の底上げをはかるための事業として。</p> <p>○視察研修 ⇒ 6/15 老人保健施設「日吉台」(事業説明と講演) ○講 義 ⇒ 6/28 14時～ こどもに関する事例検討会 10/19 19時～ 認知症サポーター養成講座 ○懇 談 会 ⇒ 7/13 11時～ 4校とで実施(1校欠席) ○訓 練 ⇒ 11/1 13時～ 認知症徘徊模擬訓練</p>	<p>【成果】 ○視察研修では、認知症予防法や施設入所等を含め生き方を習得。 ○講義・訓練では、広く深い知識の習得。 ○懇談会では、現状把握ができ活動に活かされている。</p> <p>【課題】 ○開催日の調整(計画が1件単独実施となった)</p>
24	岩国市	美川			○				<p>◎今回の指定を契機に全委員が資質と識見の向上及び委員活動の見直しに取り組んだ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会に於いて年3回活動強化事業に関する研修を行う。 ・平成28年10月23日全委員13名が、長門市社会福祉協議会(たけのこ村)へ視察研修を実施した。 ・平成29年2月28日岩国市社会福祉協議会美川支部、美川地区社会福祉協議会、地区関係団体等との合同研修会へ全委員13名も参加し、協働による支援を有効に生かして識見資質向上に努めた。 ・5月の定例会に於いて、小中学校、保育園との情報交換の場を設けたほか、入学式、卒業式、運動会、文化祭、学習発表会、学校開放に伴う授業参観や給食会、その他日常的な諸行事へも参加して支援することに努めた。 ・毎月定例会に於いて、地域心配ごと事例研究を行う。 	<p>資質向上にむけた強化事業は定例会に於いて年3回研修、視察研修、合同研修会へ全委員が参加し、要援護者や孤立しそうな人たちが美川町で安心して暮らせる地域づくりに取り組むことができた。相談関係については、定例会で事例研究を行う地域結果を踏まえて福祉員、自治会、行政などの相談機関強化に努める。</p> <p>学校・保育園との交流に関しては学校運営協議会、生徒指導推進協議会、体験学習の講師など、学校と関わりを持つ委員が何名がおり、スムーズに活動することができた。</p>
25	岩国市	錦	○						<p>《実施日》 平成28年9月9日(金)</p> <p>《実施内容》 災害支援発生時に援助を必要とする住民に対して支援が出来るよう、地域住民や関係機関・団体と協働による、災害時のニーズ把握や安否確認・支援体制づくりのための研修会を実施。</p>	<p>民生児童委員・福祉員および地域福祉関係者が一同に会し、ともに活動展開が出来るように、災害ボランティア経験者(広島県安佐北区)から直接指導を受けることで、緊急時の連携や情報共有がスムーズに行える体制づくりを今後すすめていくことが出来ていけばよいことだと思われる。ただ、各関係委員も任期等で交代するため、今後も継続して事業を実施していく必要が感じられる。</p>
26	岩国市	美和					○		<p>1. 日 時 平成28年7月26日(火) 10時～11時 2. 参加者 和木町民生委員児童委員協議会 17名 美和地区民生委員児童委員協議会 23名 3. 内 容 和木町民生委員児童委員協議会との交流研修 和木町、美和町の概要説明及び民生委員活動の紹介 意見交換</p>	<p>【成果】 民生委員活動の意見交換ができて、委員の資質向上と今後の活動の参考になった。</p> <p>【課題】 有意義な意見交換会ができたが、全体研修の形式であったため、意見をだしにくい場面もあった。グループワークも取り入れて、話しやすい雰囲気を作りだせればよかった。</p>

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					
					資民生質向上に向けた研修の実施	動の推進に 関する調査	地区民児協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
27	岩国市	周東		○					<p>《実施日》 「新学期あいさつ運動」実施日 平成28年4月8日(金)～14日(木) 平成28年9月1日(木)～7日(水) 平成29年1月10日(火)～16日(水)</p> <p>社会を明るくする運動に係る「あいさつ運動」 平成28年7月1日(金)～7日(木)</p> <p>《実施内容》 周東町内における小中学校7校の校門・スクールゾーンに民生児童委員が街頭に立ち、児童生徒に対して「あいさつ運動」を実施。事業費はあいさつ運動に必要な民生児童委員のネームが記載された「ベストジャンパー」を作成するための費用に充当。</p>	<p>「あいさつ運動」を通じて、児童生徒と民生児童委員との関わりをもつことで、子どもたちの健全育成を図るとともに学校と民児協の連携強化を推進することが出来たと思う。特に周東町内においても不審者情報が増加しており、児童生徒と民生児童委員が顔見知りとなることにより不審者防犯対策と取組が強化されたと感じる。</p>
28	長門市	日置			○			<p>地区社協の研修会に積極的に参加することで、福祉員との交流を図り、情報共有を構築し、地域の福祉事業の推進を行う。 6/28 地区懇談会 11名参加 7/13 福祉大学 10名参加 8/3 福祉大学 11名参加 9/7 福祉大学 12名参加</p> <p>先進地への研修視察を行い、民生児童委員の資質向上の活動を充実させる。 10/24 視察研修 16名参加 周南市社協徳山支部 もやい地区ステーションの取組(高齢者地域見守り事業) 独居・高齢者・障害者・生活困窮者・児童の世帯見守り並びに 民生児童委員の役割・活動状況周知強化</p> <p>民生児童委員が世帯・学校・施設等訪問時に、委員が民生児童委員の黄色のそろいのTシャツを着用することにより、民生児童委員の役割・周知を図る。 6月中旬～下旬 地区内学校保育園訪問 小学校2校 中学校1校 保育園2園 延べ参加47名 8/13 特養夏祭り運営協力 14名 10/25 市老連スポーツ大会運営協力 13名 11/11 小学校餅つき協力 11名 12/21 小学校しめ縄づくり協力 4名</p>	<p>地区社協の研修の計画と立案に参画し、地域の実態の把握に努めた。民事業の活動に対して地域活動の課題を見つけることができた。 先進地への研修視察の実施により、委員の資質向上に繋がりが、今後の活動に参考になった。 民生児童委員の黄色の揃いのTシャツを学校行事・交通立哨・諸行事の際、着用し、民生児童委員の役割・周知が図れた。 今後も関係機関と連携し、地区住民の地域福祉の向上に取り組みきたい。</p>	
29	長門市	三隅			○		○	<p>1 日時 平成28年10月24日(月) 9:00～17:30 2 参加者 19名(うち事務局1名、社協1名) 3 内容 萩市むつみ世帯間交流拠点施設 やまぐち総合教育支援センター研修視察</p>	<p>民生委員の活動の中で高齢者の見守り・支援はとても重要となっている。萩市むつみ地区は高齢者等の日常生活における諸課題の解決に向けた取り組みを行っており、地域の高齢者から子どもまでが気軽に立ちよう事のできる交流の場を設けることによって世代間交流の場づくりも行っている。今後の地区活動の参考としていきたい。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資質向上の実施 民生委員・児童委員の	動の推進 の推進に 活動 民生委員・児童委員の調査	地区民児協同士の交流事業の実施			
30	柳井市	日積			○			<p>○特色ある事業を展開する施設等に趣き、地域住民への福祉サービス等のあり方について学び、民生委員児童委員の資質が向上すること、地域福祉の推進を図る。</p> <p>【目的】 視察研修等を実施することで、民生委員児童委員としての資質向上を図る。</p> <p>【研修内容】 ①広島障害者就業・生活支援センターへの視察研修 障害者の就業や生活の支援について、支援センターの相談員から直接その状況や問題点を聞いたり、地域での支え方について助言をもらうことで、民生委員の活動に役立てる。 【実施日】平成29年2月21日(火) 【参加者】民生委員児童委員9名</p> <p>②広島障害者職業能力開発校への視察研修 障害者の就業・自立支援について学ぶため、能力開発校を訪問し、入校から学校生活及び就業までの状況を直接聞くことにより地域での支援に役立てる。 【実施日】平成29年2月21日(火) 【参加者】民生委員児童委員9名</p>	<p>【成果】 障害者に対する就業や自立支援へのサポート体制が解り、この関係で悩む人の相談や相談できないが悩んでいる保護者等に新たな情報や希望を持たせることができるのではないかと期待が持てた。</p> <p>【課題】 ひきこもりや世間体から相談もできず、また、自分から問題を解決したいと相談したり、学習する意欲のない人への支援が難しい。</p>	
31	柳井市	伊陸		○			<p>○伊陸小学校・伊陸地区社会福祉協議会と連携して、伊陸地区児童の健全育成に努める。この事により若い保護者の方に民生委員児童委員の活動もPRできる。</p> <p>【事業内容】 学校福祉連絡協議会を通じて、民生委員児童委員と学校教職員との間で、児童の情報を共有し、情報交換をする。学校行事に参加し、児童の見守り活動を実施する。 伊陸小学校の一人1台の一輪車導入計画の支援をする。</p>	<p>【成果】 地域の子どもの状況を知るため、学校行事に参加したり、学校福祉連絡協議会で情報交換をすることで地域の子どもの状況を知ることができた。</p> <p>【課題】 県の補助金を活用して、一輪車の導入の支援ができた。児童や地域住民からも喜ばれ、民生委員の活動のPRにも役立った。</p>		
32	美祢市	伊佐	○				<p>5月29日 伊佐地区社会福祉協議会と合同で研修 (1)福祉の輪づくり運動について (2)福祉員の役割と民生委員との連携について ☆福祉員 参加 57/67名(85.0%) ☆民生委員 参加 12/12名(100.0%)</p> <p>研修会後、民生委員・児童委員担当地区単位に懇談会を開催し、顔合わせによる個別ニーズや地域ニーズの共有や見守り、支援を行う対象者の把握や連携した関りを検討した。</p>	<p>【成果】 地区福祉員との交流が図られ、見守り、支援を行う対象者について情報交換を行い共通の理解ができた。福祉員との連絡体制について、見守り訪問活動と安否確認の実践、気づきがあれば民生委員に連絡することを確認できた。</p> <p>【課題】 農村風景の広がるのどかな地域であるが、地区により温度差があり、見守りと訪問活動が十分機能しているとは言い難い現状がある。福祉員との連携や近隣の住民のご理解を得て地域の助け合いを活動を一層推進する。</p>		

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価												
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					新規事業実施の促進											
					資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	民生委員・児童委員の調査活動				地区民児協同士の交流事業の実施										
33	周南市	桜木		○			○	<p>①人形劇の公演(演目:おじいさんの魔法の言葉 他)</p> <p>㊦ 日時:4月24日(日) 10:00~11:00 場所:心光寺(戸田地区) 参加者:31名</p> <p>㊧ 日時:11月10日(木) 13:00~14:00 場所:桜木小学校 参加者:63名</p> <p>②下松市東豊井・江の浦地区民児協交流会 日時:11月14日(月) 10:30~15:00 場所:国民宿舎「王城」及び日立製作所笠戸事業所 参加者:32名</p>	<p>【成果】及び【課題】</p> <p>①人形劇やお話を通して、子供達と楽しい時間を持つ事が出来ました。今後も地区内の子供達には声掛けや挨拶をして、見守り活動につなげていきたいと思えます。</p> <p>②他の市との交流は初めてでしたが、事前に数回の打ち合わせの会をもつことで、スムーズに交流会が行われました。高齢者や児童の見守り活動の注意点等今後の活動に役立つ情報を協議することができました。また、日立制作所では新幹線車両のできる工程を見せていただいて、とても良い体験ができました。</p>												
34	周南市	遠石		○	○			<p>6月、11月各々2回開催されている放課後子ども教室へ参加、皆さんで児童の宿題、話し相手をする。その会ごとの決められた作業の手伝いを一緒に取り組んだ。</p> <p>10月19日民児協委員と福祉員と42名で「サンビレッジこもれびの苑」(有料老人ホーム&デイサービスセンター)「ケアハウス三丘」(経費老人ホーム)を訪問した。民生委員を中心に集まり昼食後、地区ごとの日頃の悩み、問題点などを情報交換した。</p>	<p>【成果】</p> <p>小学生とは登下校の挨拶程度しか接することがなくあまり様子がわからない。流行の遊びや言葉など多くのことが聞ける良い機会であった。これからも積極的に参加したいと思う。</p> <p>近隣施設の見学で身近に多くのことを質問することができた。いつお世話になるかも、との思いが強い年齢となった気がする。</p> <p>福祉員とも中々話し合いの場がなく、双方の悩み事が出せる機会となった。</p>												
35	周南市	夜市		○				<p>夜市の通学合宿</p> <p>1 実施場所=夜市公民館及び近隣世帯</p> <p>2 実施月日=平成28年6月15日(水)~18日(土) 3泊4日</p> <p>3 参加児童(夜市小学校児童)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>男子</td> <td>女子</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>18</td> </tr> </table> <p>地域住民の参加数=実行委員:12名、サポーター:39名 もらい湯提供世帯:11世帯</p> <p>児童が親元を離れ、自分たちで日常生活(食事・洗濯・宿題)を体験しながら夜市公民館から直接通学する。保護者が介入しない子供主体の生活を体験した。夕食後は、近隣の世帯で「もらい湯」を経験した。</p>		男子	女子	計	3年生	9	8	17	4年生	8	10	18	<p>【成果】</p> <p>4日間、地域住民の協力得ながら自分たちで生活することによって、親の苦勞を理解し、全員が達成感を味わったようだ。保護者からのアンケートでも子どもにとって良い経験になったとか、子どもからはとても楽しい時間だったと述べている。</p> <p>【課題】</p> <p>次年度も実施する方向で進めている。申し込み児童数が増加することが見込まれるが、場所の収容能力やサポーターのさらなる増員が課題となる。</p>
	男子	女子	計																		
3年生	9	8	17																		
4年生	8	10	18																		

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化				
					資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員の 活動	地区民児協同士の 交流事業の実施		
36	周南市	須金			○			<p>4月26日周南市自主防災ネットワーク会議に参加 5月から避難行動要支援者個別表の作成 5月12日周南市出前講座で家具転倒防止器具設置の講演を受けた 7月6日防災活動とDIGの基礎講座(1人) 8月6日気象講演会開催(気象予報士、約50人参加) 8月29日避難所運営ゲーム(HAG)1回目開催 10月30日ハロウィンで独居世帯訪問(11人) 12月9日避難所運営ゲーム(HAG)2回目開催 12月20日高齢者独居世帯キーキを持って訪問し、安否確認6人参加</p>	<p>【成果】 災害発生時に援助を必要とする住民に支援ができるよう、地域住民や関係機関団体と協働による、災害時のニーズ把握や安否確認、支援体制づくりができた。家族の個人情報を書き入れたペットボトルを全世帯に配布できた。</p> <p>【課題】 家具転倒防止器具設置の啓発活動が進まない。 防災カードの情報を最新にする方法を模索中</p>
37	周南市	熊毛	○	○	○		<p>(1)「人権フォーラム講演会」を関係団体とともに主催し、民児委員活動のPRを行った。 ＜日時＞平成28年12月3日(土) 14:30～16:30 ＜参加者＞111名</p> <p>(2)「周南こどもゆめまつり」に関係団体と協賛して児童・子育て支援行事を企画して実施した。 ＜日時＞平成28年10月23日(日) 10:00～15:00 ＜参加者＞335名</p> <p>(3)改選後初の12月定例会において、講師を招き、「福祉の動向と民生委員・児童委員に期待されること」と題した研修を行った。 ＜日時＞平成28年12月14日(水) ＜参加者＞37名(全員)</p>	<p>【成果】 ・人権フォーラム講演会」を関係団体とともに主催し、民生委員・児童委員が多数参加することで、一般の方へ民生委員活動をPRできた。 ・ゆめまつりでは、大勢の親子に楽しんでいただきながら、ふれあいの場を提供でき、児童育成・子育て支援活動の推進につながった。 ・改選後、初の月例会での研修会は、新任委員・再任委員共に、今後の活動の指針となる、大変有意義なものであった。</p> <p>【課題】 ・今後も継続的に実施していけるよう、予算面もあわせ、調整していきたい。</p>	
38	山陽小野田市	第2地区		○			<p>地区の高齢者・子育てマップを作成し、民生委員・児童委員活動に活用する。 ○マップ検討及び作成 ◆H28.7～H29.4 延べ13回 約60名 ・役員及び児童福祉部会員を中心として担当校区内の施設をリストアップし地図上に番号(分野別)を入れる。 (※当初は「子育て」で着手したがマップにするには施設が少ないこと、又、「作成するならば高齢者施設や医療施設を加えた方がよい」との意見を反映し、方針を変更した。)</p> <p>○印刷業者との折衝・印刷 ◆H28.10～H29.4 延べ5回 会長・副会長で対応 ・マップ見本を提示し、方法の考え方を説明。対応の可否及び見積を依頼した。 ・制作マップを提出し、ゲラ刷りを作成依頼。校正(2回)を経て、印刷完成。</p>	<p>【成果】 ・担当地区内の関係施設を把握することができたこと。 (特に、高齢者に関係する施設が多いことを再認識した。)</p> <p>【課題】 ・自前で原稿となるマップを制作したが、イラストの入手や地図への落とし込み等、技術的に限界があり、結果として完成が大幅に遅れてしまった。</p>	

平成28年度 地区民児協活動支援事業

No.	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価	
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	地区民協体制強化					新規事業実施の促進
					資民生委員・児童委員の向上に向けた研修の実施	動民生委員・児童委員に関する調査活動	地区民児協同士の交流事業の実施			
39	周防大島町	周防大島町	○					<p>電動カー利用者支援システムの構築 高齢者等が利用する電動カー(電動車イス)について、利用者情報及び車体情報並びに緊急時連絡先を登録していただき、ナンバープレートを発行し、それを車体に装着してもらうことにより、交通事故等不測の事態への早期対応や見守り体制の強化を図る。 電動カーの登録については、民生委員・児童委員やケアマネジャーが利用者宅を訪問し、事業の説明をし、承諾の得られた方を調査票に記入し、事務局(役場福祉課)に提出することにより、大腸が作成され、ナンバープレートが交付される。交付されたナンバープレートは民生委員児童委員を通じて、利用者に渡され電動カーに取り付ける。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録台数164台(登録利用者165名) 警察や消防との連携強化につながった <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 承諾の得られなかった方をどのように登録に導くか、検討が必要 ナンバープレートの追加制作のための財源不足 	
40	阿武町	阿武町		○			<p>・救命講習受講(実施日:平成28年7月22日) 山口市消防本部での救命講習を受講し、胸骨圧迫・AEDの取扱いについて受講した。</p> <p>・町内カット野菜の加工施設視察(実施日:平成28年10月12日) 平成28年に開設された施設で、「農福連携」として障害者の雇用を積極的にされている現場を視察した。</p> <p>・新任委員に対する学習会の実施(独自研修:1回、外部研修:1回) 民生委員一斉改選に伴い、新任委員を対象として、会長より学習会を1回、外部研修への参加を1回実施した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策等の仕組み・組織作りが進む中、民生委員として救命行動ができるように救命技術及び意識の向上を図ることができた。 町内に「農福連携」として開設された先駆的な施設を視察し、現場の雰囲気を感じることができた。 新任委員への民生委員としての心構えや活動のあり方、民生委員制度をよく知ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修等を通して、民児協としての災害等に対する意識が高まってきているが、行政や各自治会との連携・協働体制の仕組みづくりが必要である。 		